

## 2022 年度 事業報告

2022 年度は、前年度のものづくり館の竣工と解体に続き、7 月には本館が竣工し、移転作業のため、7 月と8月はグループ活動を停止し、新たなボランティア活動の拠点整備とルール構築につとめました。

9 月から新しい本館での活動がスタートし、依然、コロナ禍における活動制限などもありましたが、2 年目となる中期目標「心をつむぐ あしたを織る」を、スタッフとボランティアが共有し、引き続き全ての事業を SDG s の 17 個の目標と関連付け、あすてで活動する全ての人が、より良い社会を築くために自分ができることを考えながら、行動に移す 1 年となりました。

### 公益目的事業

#### (1) 地域の健全な発展を図るための事業

##### 1 ものづくり事業

###### ア ものづくりプロジェクト

ものづくりをテーマにしたイベント等を開催し、ものづくりの魅力を広く県民に知ってもらうとともに、活動拠点の整備やボランティア機会の提供、紹介など、ものづくりボランティアの育成・支援を図るために以下の事業を実施いたしました。

###### ① 「技能の伝承」

羅織の魅力を多くの人に知ってもらうために、10 月 22 日(土)と 23 日(日)に豊田市の指定文化財である旧松本家・遊佐家長屋門秋の特別公開にて作品展示を行い、350 名の来場がありました。

###### ② 「からくり」

からくりの魅力を多くの人に知ってもらうために、年間を通してからくり作品の製作を行うとともに、あすて本館内にて作品展示を行いました。また、未来学校において小中学生を対象にしたからくり教室の講師を務めました。

###### ③ 「間伐材を使ったものづくり」

企業、団体等からの協賛をもとに間伐材を活用した製品づくりをボランティアの手で行い、年間を通してこども園等に寄贈しました。

寄贈実績：ベンチ兼テーブル(東浦町内保育園に 24 脚)

子ども用ベンチ(豊田市内こども園ほかに 17 脚)

##### 2 環境事業

###### ア 地球緑化プロジェクト

広く県民から公募し、あすてに登録されたボランティアが、砂漠化の進む中国内モンゴルなどで植林活動を行ったり、イベントの開催を通して、県内で地球緑化に携わる団体の紹介や広く県民に地球緑化活動の大切さを伝えるための事業を実施いたしました。

###### ① 「あすて生物多様性公園」

あすて本館跡地を活用した緑化公園づくりの基本計画策定を目的として、ボランティアによる 13 名の実行委員が計 9 回の実行委員会を開催しました。

## イ 環境保全プロジェクト

豊田市内の山林や竹林で間伐作業を行い、その間伐材や竹を使って製品を作り福祉施設等へ寄贈いたしました。その他、地域の清掃活動や花壇づくりを通して地域の環境美化に寄与するために以下の事業を実施いたしました。

### ① 「間伐した竹の活用」

年間を通して、地域の竹林整備と竹炭づくりなどを行いました。

## 3 福祉事業

## ア 地域支援活動

一般県民から公募し、あすてに登録されたボランティアが主体となって、高齢者向けの講座（体操や絵手紙体験など）や子育て中のお母さん対象の講座（アート体験など）を行ったり、地域の福祉施設で慰問演奏を行うために以下の事業を実施いたしました。

### ① 「小さなお世話」

子育て中のお母さんたちの居場所づくりとして、ボランティアが主体となって6月19日(日)と9月23日(日)にマルシェ「ほんわか」を開催し、計30ブースのブース出店と250名の来場がありました。

### ② 「おむすびプラス」

デジタル難民の高齢者を対象に、スマホ教室を月1回開催し、延べ80名が参加しました。

## イ チャリティー活動

一般県民から公募し、あすてに登録されたボランティアグループが主体となって、ベルマークなどの募金・収集活動やチャリティーコンサート、バザーなどを開催し、その収益は全額、難民支援や東日本大震災支援に寄付するために以下の事業を実施いたしました。

### ① 「あすてらんち」

ボランティアの手による利用者のためのランチづくりを、年63回開催いたしました。

### ② 「ミニバザー」

利用者同士が不用品等を持ち寄り随時販売できるコーナーをあすて本館内に設けました。また、11月29日(火)には、5グループが共同でバザーを開催し、60名の来場者がありました。

### ③ 「チャリティーコンサート」

あすてのグループであるGG33が、12月4日に、地球緑化支援を目的にチャリティーバンドコンサートを行いました。

## (2) 国際社会の健全な発展を図るための事業

### 1 国際交流事業

## ア 文化交流

外国人と日本人が交流会や文化体験会等を通じて、互いの文化を理解し、違いを認め合える機会をつくるための事業を実施いたしました。

## 2 国際協力事業

### ア 国際支援

カンボジアでの水質浄化活動と国際協力団体との連携による「世界の今」を知ってもらうためのイベントを以下の通り実施いたしました。

#### ① 「Kid's smile」

6月5日（日）に、ボランティアが主体となって「親子で楽しむ体験デー」を開催し、10組の親子が遊びを通して、カンボジアの現状について学びました。

## 3 多文化共生事業

### ア 異文化理解

外国人が日本人とともに日本語や日本文化の学習、体験をするために以下の事業を実施いたしました。

#### ① 「華僑華人家」

日本で育った中国の子供たちの母国語保持教室を、グループが主体となって年間を通して開催しました。

## (3) 未来につながる担い手の育成を図るための事業

### 1 担い手育成事業

#### ア 担い手づくり

地域の技術者が青少年にクルマづくりを教えたり（クルマづくり究めるプロジェクト）、男性の保育士が子育て講座を開催したりする機会を提供し、また、企業の社員を対象にボランティア研修の機会を提供するために以下の事業を実施いたしました。

#### ① 「クルマづくり究めるプロジェクト」

子どもたちが、達人からクルマづくりを通して、ものづくりの技と心を学ぶことを目的に、豊田市と共催で実施しました。6月までは従来の内容で活動を行い(基礎コース6回 究めるコース6回 きんとうんコース6回)、9月より、10年間の集大成となる活動を13回行いました(集大成活動は2024年3月まで)。

参加者数：生徒62名 ボランティア：235名

#### ② 「未来学校」

ものづくりを通じた人材育成を目的に、子どもたちを対象に2月19日(日)、26日(日)にからくり教室を開催し、9名の参加がありました。

## 2 チャレンジ事業

### ア 新企画創出推進

青少年が主体的に夢に挑戦し、実現するために場の提供や助言、相談対応などを行いました。

## (4) 豊かな人間性を涵養するための事業

### 1 支援事業

#### ア 啓発

ボランティアへの意識向上につながる研修や集会を以下の通り実施いたしました。

##### ① 「はじめの会」

4月2日(土)に、グループの代表者に参加していただき、新年度の事業の説明等を行いました。

参加人数：26グループ 39名

##### ② 「あすての日」

あすての設立記念日である12月11日(日)に、理事長メッセージと公園企画の中間報告などを映像配信いたしました。

#### イ 活動支援

活動場所の貸与を行いました。

・登録グループ数：39グループ 登録延べ人数：601名

#### ウ 相談対応・指導

ボランティア活動における助言、指導などを行いました。

### 2 広報事業

#### ア 広報

リーフレット、ホームページ、通信、掲示等によるあすての事業やボランティア活動の広報を行いました。